

会員制YEG書房
Re-Creation



燃えるいのち No.25



可児商工会議所青年部会長
長谷川 啓仁
長谷川工業所

想いを創る

私は可児市に生まれ43年の年月が過ぎようとしています。この街に愛着があるかと問われれば、「あります」と答えます。ですが具体的に説明することは難しく、「住み慣れたから」ということが大きな要因かもしれません。地域の魅力は様々な要素から成り立っていると思います。歴史文化、商工業の発展、娯楽面の充実、教育環境等々。これまでの私はこれらを誰かが持ち込んでくれることをただ待ち、そこから選んでいこうに思っています。おそらくこの「待つている」という過ごし方が具体例を挙げられないのではないかと感じました。人口減少に起因する様々な問題を抱えるなか、「人に選ばれる街」、「人の根付く街」にしていきたい。それは子供たちが大人になり自ら生活基盤を築くとき、地元を選んでほしい。市外の方々と企業にも可児市を選んでもらいたい。そして、「寄せ鍋」のような多くの愉しみを持つ魅力ある地域に発展していったほしいという想いから、青年部が地域の為にできることを考え取り組むべく、平成30年度スローガンに「YEG Re-Creation〜今を創ることから始まる未来〜」を掲げスタートしました。

今年度の取り組む姿勢として重視したことは、「独自性の追求」です。総務委員会においては、4月「通常総会」の企画運営をしていただきました。おそらく初の試みとなる飲食店を営む部員の料理をライブキッチン等の演出とともに提供し、御来賓の皆様方と先輩諸兄にこれまで青年部を支えていただいた謝意を表するとともに、新役員と部員紹介を新しい形でできたいと思います。非常にタイトなスケジュールのなか部員も驚きと楽しさを感じる設えが一年間の部員の起爆剤になったと思っております。

組織力強化委員会においては、6月に「マシユマロチャレンジ」と題し、PDC Aサイクルを活用したチームビルディングの研修を行いました。ゲームの成果も上がりましたが、それぞれが共通目標のもと役割を担いチームに貢献することで、これまで関

わる機会の少なかつた部員間に新たな結びつきを生み組織の結束力強化に繋がったことはその後の懇親会の席で顕著に表れていました。本委員会の「独自性」を感じたのは、6月は序章でありその後の11月例会において、人と人との繋がりの先に事業所間の繋がりを図るべく、全部員の事業所を取材し冊子に纏め、例会時に他己紹介をすることで記録と記憶に残る取り組みは青年部だからこそ人と事業所の繋がりを生む素晴らしい事業でした。

広報委員会においては、「青年部ならではの、自身の苦手分野への挑戦！ベテラン部員が若手部員を導き委員会の意見を反映させながら、インスタグラムの開設と長年慣れ親しんだホームページの拡張性を持たせたレイアウトの再構築をしていただきました。この一年の取り組みが今後の広報委員会の在り方や活用に一石を投じたと感じています。また、「東海プロック大会飛騨高山大会」の取り纏めにおいても多くの部員が参加できる企画により上部団体事業を体験する事業を行っていたことはYEGとして大切なことだと考えています。

地域振興委員会においては、5月「manooオープンング事業」に親会主導のもと参画し、公民一体となつての地域創りに貢献することから始まり、1月「巨大鍋とかまくら」事業は、地域の魅力創出事業として直径7メートルの鉄鍋製作からはじまり、市民の皆様と野菜の栽培・収穫を行い、共に事業をまるごと育ていくほどの壮大なものでした。無謀ともいえるような挑戦を大人が楽しみながら真剣に取り組む背中が鍋よりも大きく、また熱くも見えました。伝統には始まりがあります。市民の皆様と共に地域を見つめ、「こんな街があつたらいいな」を共に築き魅力ある、人を選ばれる街づくりに青年部も貢献できる組織であると改めて感じた事業でした。

結びに、素晴らしい仲間と共に濃密な時間を過ごし、貴重な経験をさせていただきました。私達がこのような活動を続けられるのも、渡辺会頭をはじめとします親会の皆様方、市役所をはじめとします関係各所の皆様方のご支援ご協力があつてのことです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

平成30年度 可児商工会議所青年部 役員紹介

会 長	長谷川 啓仁	直前会長	亀谷 孝太	筆頭副会長	畑 佐 卓	地域振興委員長	梁 川 清和	副 会 長	大 口 剛弘	副 会 長	西 村 賀彦	監 事	溝 口 広明	監 事	曾 我 伸仁	総務委員長	奥 村 真吾	組織力強化委員長	高 木 康宏	広報委員長	小 池 康仁	顧問	松 田 浩一	県連会長	亀 谷 孝太	県連専務理事	山 口 峻	県連専門委員	若 山 義史	県連専門委員	湯 浅 崇史
-----	--------	------	-------	-------	-------	---------	--------	-------	--------	-------	--------	-----	--------	-----	--------	-------	--------	----------	--------	-------	--------	----	--------	------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------



可児市長
富田 成輝

「燃えるいのち」第25号 発刊を祝して

「燃えるいのち」第25号発刊、誠にめでとございませう。

可児商工会議所青年部の皆様には、日頃より本市の商工業の活性化のみならず、市政全般にわたり格別なるご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

また、今年1月には直径7mの巨大鍋を製作し、市民の皆様と共に七草や白菜を収穫して鍋料理を振る舞うなど、新たな企画や運営を展開されますその行動力に対しまして深く敬意を表すものであります。

本市においては、「住みこち一番・可児」の実現を目指し、若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちを創造することを目標に『高齢者の安気づくり』『子育て世代の安心づくり』『地域・経済の元気づくり』『まちの安全づくり』の4つを重点方針として掲げ、市政運営に取り組んでいるところで、『地域・経済の元気づくり』においては、昨年11月に地元企業と高校生のマッチング事業である「可児の企業魅力発見フェア2018」を開催し、人材確保の支援を行いました。また、中小企業や小規模事業者、創業希望の方が気軽に相談していただける「可児ビジネスカフェ」へも多数の訪問をい

ただいているところで、

さて、2019年度は、可児市において山城を有する自治体と全国の山城ファンが集う「第26回全国山城サミット」を開催いたします。市内には、戦国時代の城跡が数多く残っており、次世代に伝えるため、地域の皆様や企業の皆様とともに整備を進めてまいります。

また、2020年には、明智光秀を主人公とした大河ドラマ「麒麟がくる」が放送されます。明智光秀生誕の地である可児市では、大河ドラマ館を設置予定であり、多くの観光客の誘致を推進いたします。さらには、全国山城サミットと大河ドラマに関わる取り組みを通して、可児市の歴史や魅力を市内外の多くの皆様に伝え、全国に「住みこち一番・可児」を発信してまいります。

市政発展の基礎となる『地域・経済の元気づくり』には、貴青年部の皆様の参画と協働が必要です。この機会を是非活かしていただき、商工業の更なる発展に取り組んでいただくことが極めて重要であると考えております。今後の商工業界を担われる青年実業家の皆様がその持てる力を存分に発揮され、これからの地域のリーダーとして益々活躍されますことをご期待申し上げます。

最後になりましたが、貴青年部の益々のご発展と部員皆様方のご健勝をお祈りし、お祝いの言葉といたします。



可児商工会議所会頭
渡辺 敏夫

機関誌発刊に寄せて

この度「燃えるいのち」第25号を発刊されますことに対し、心よりお祝い申し上げます。

青年部の皆様には、日頃より商工会議所の活動並びに、地域振興活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の日本経済を見てみると、米国経済が牽引役となり世界経済の安定した回復基調などを背景に、輸出産業を中心とした企業の好業績により支えられてきました。しかしながら、米中貿易戦争が長引き、米国内部がスロウダウンした場合、日本経済が大きな打撃を受けると予測されています。また、韓国との「徴用工問題」や「レーダー照射問題」も、これ以上対立が深まり泥沼化すると観光業などへの影響が懸念されています。一方、日本国内に目を向けると、本年には、消費に影響を与える2つのイベント「働き方改革関連法の施行」と「消費増税」があります。「働き方改革」では、残業時間の上限が厳しく設定されるため、生産性の向上などにより、賃金の上昇が伴わなければ、年収の減少となり個人消費の減少に繋がります。もう一つの「消費増税」では、前回の8%増税の際に見られたように、駆け込み需要やその反動減などで消費が低迷したことから、今回も消費者マインドを冷やし景気にとつて逆風になる可能性が高いと言われています。

このような状況のなか、多くの中小企業では別の大きな問題を抱えています。ひとつが「人手不足」の深刻化です。当所で行っている経済動向調査でも、人手不足を訴える企業は年を追うごとに増加しており、今後更に厳しくなっていくことは確実です。そうした場合、中長期的には、経営者自身が生き残り、リスクヘッジしながら、I・T、O・T、A・I・ロボットを活用した生産性向上に取り組み、女性・高齢者・外国人材などの多様な人材を活用するなど各企業が自社の事業計画を見直しながら前向きに展開していくべきであると考えます。

もうひとつは、「人口減少社会」への不安です。社会保障制度の持続性や、国の財政の健全性に対する懸念、また、人口減少による消費の縮小傾向も経済の悪循環を生み出す要因になります。

そこで、地元企業が、活力ある経済社会を創りあげる主役となり、地域経済再生と地方創生を実現する原動力となっていく必要があります。将来的には人口減少によりこの地域でも消費は縮小傾向となることから、その中でいかに県外の需要を取り込みつつ、地域内での経済の好循環を生み出すかが重要で、そのひとつとして、2020年には可児市が生誕の地と言われている明智光秀が主役のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」が放映されます。これを観光振興の起点として地域をより一層盛り上げる取り組みを当所だけでなく、行政や地域内各種団体等と連携し、積極的に進めていく意向であります。

以上のような人手不足への対応や人口減少社会について、地域経済団体である商工会議所としては、I・T等による生産性の向上や人材活用を含む事業計画の見直し、行政等と連携しながら観光を含めた人口流入の促進、流出防止策などの役割を担うことが重要であります。

当所では、市内経済、産業の発展のため平成28年に「中期ビジョン」を策定し、商工会議所の理念として「地域・人づくりを通しての経済発展への貢献」を掲げ活動しております。

この理念を踏まえ、これまでの事業についても継続すべきこと、新たに取組むべきことを皆様方からご意見をいただきながら事業活動を進め、魅力ある商工会議所を目指して精一杯頑張る所存であります。

今年度の青年部は、夏まつりだけでなく、地域魅力創出イベント「巨大鍋とかまぐら」事業を開催され、多くの市民の方々に楽しんでいただき、可児市を盛り上げていただいたと感じております。今後も多方面での活躍を期待しております。

最後になりましたが、青年部の皆様のご健勝と青年部の益々のご発展を祈念申し上げます。



総務委員長

奥村 真吾

有限会社 丸茂自動車整備工場

平成30年度総務委員会の活動を振り返って

燃えるいのちをご覧の皆様、いかがお過ごしでしょうか。平成30年度総務委員長の奥村です。

まず記念すべき平成最後の燃えるいのちに寄稿できますこと、大変光栄に思います。

是非最後の1行までお付き合いいただきますよう、よろしくお願い致します。

さて、平成30年度の総務委員長としての私が誕生いたしましたのは平成29年の11月の頃でした。長谷川会長から携帯電話に連絡があり、「お前が欲しい」と言われましたら、どうして断ることなどできませんか。

私はこれまでの青年部生活の中で役員を一切経験したことは無く、不安の方が大きかったのですが、前年度の総務委員副委員長の大口さんが担当副会長、ベテランでラストイヤーの本田さんが副委員長になっていただいてガツチリと支えていただけました事によってそれは解消され、気合十分の状態で30年度総務委員会はスタートできました。

最初に担当したのが年度初め4月の

通常総会で、「例年には無いものを」というコンセプトがありました。来賓の方々に飲食店メンバーのことも知ってもらおう目的も併せて、総会後の懇親会の場で、それぞれに料理を提供していただくという内容を準備を進めて行きました。

会場の選別、総会と懇親会の場面転換、現地での調理に関する制限等、越えなければいけないハードルは多かったです。総務委員会が一丸となり無事開催することが出来ました。出席いただいた方には大変喜んでいただき新体制の幕開けとしてはこれ以上ないものだったと今では自負しております。

その後の組織力強化委員会との合同による臨時総会、初の試みとなった遠隔地での一泊旅行忘年会も、優秀なメンバーのおかげで大変良い結果を残す事が出来ました。

この一年間何物にも代えがたい貴重な体験をさせていただき、大変感謝しております。

これを次年度以降の自身の青年部活動に役立てて行こうと思っています。最後までご精読ありがとうございます。

総務委員会





広報委員長
小池 康仁
ヒロミト・ヨー住器 有限会社

まさかの広報

「康くん、広報委員長お願いしたいんだけど。」

長谷川会長からそう言われた時、耳を疑いました。17年間の青年部活動を振り返っても、どんと焼き、バーベQ、旅行、夏まつり…イベント系の委員長なら幾度か経験してきましたが、広報・総務といった事務系委員会の経験は皆無だったのです。しかし、「うえぶ」「えすえぬえす」など最近のツールに疎い自分だからこそできることもあるのではと思い、チャレンジしてみることにしました。

最初に取り組んだのが、インスタグラムです。青年部ページを作成し、インスタグラムを自社事業に取り入れている委員会メンバーの力を借り、写真の撮り方から、ハッシュタグの使い方などを学び、徐々にフォロワーも増やすことができました。なんとか次年度も活用していただけるツールにできたと思います。

10月は東海ブロック大会飛騨高山大会参加例会。上部団体への参加例会では、参加人数が成否のポイントだと理解しながらも仲間に「参加して！」と

素直に言えない自分がいました。それはなぜかと考えた時、自分が東海ブロック大会に参加する意義をわかっていないことに気づいたのでした。そこで、諸先輩方のご協力もいただき、東海ブロック大会とは？、という動画を作成し、「東海ブロック大会を知るために参加しよう」という趣旨で仲間を誘い、結果として全体の半数を超える31名の部員に参加してもらうことができました。

そして今、手にしていただいているこの「燃えるいのち」。平成6年に誕生して以来25年間の青年部の軌跡を「平成最後」というタイミングで残すことに携われたことを光栄に思います。

この1年を振り返ってみると、担当事業を事務的なものではなく無意識のうち「イベント」と捉えてきたように思います。自分がイベント好きだからだと思えますが、イベントにして周囲を巻き込み、楽しみながら青年部の良さを知ってもらうことは広報の本質なのだと思えます。

最後に、至らないところは多々ありましたが、会議所の皆様、執行部及び役員会の皆様、委員会の皆様、青年部の皆様、多くの関係者の皆様から感謝いたします。1年間ありがとうございました。

広報委員会





組織力強化委員長

高木 康宏

有限会社 万寿実家具センター

組織力強化って なんですか？

今年度のスローガンである、Re-Creationのもと、長谷川会長より頂いた「組織力強化」という命題に対し、いかに成果を上げ、次年度以降に繋げていくのかを模索することから始めました。

当委員会で組織力とは先ず「組織がまとまって動く時に発揮される実行力。また、他に与える強い影響力。組織の持つ力」と定義し、一年を通してその力を養い育んでいける事業として計画しました。

6月例会においては、楽しくチームワークの大切さを感じてもらおう「マシユマロ・チャレンジ」というチームビルディングの要素を取り入れた体験型ワークを事業として企画しました。

当日は、ゲームの景品を飲食業会員に協賛をお願いするなど、より多くの会員を巻き込んで参加してもらえようという工夫を盛り込み、参加率の高い有意義な事業となりました。

11月例会においては、「先ずは組織の仲間としてお互いを知ること」を

テーマとし、お互いの事業所内容や他者に紹介しお薦めしあえる環境を創り設えました。

組織力強化委員会のメンバーが青年部員の事業所をすべて取材し、紹介する「世界一わかりやすい可児YEGの事業所」という冊子を発刊しました。仕事中にも関わらず快く取材を受けいられたくれた青年部員に感謝します。

またそこで導き出すことが出来た青年部員の事業への思いや、取り組み、細かな事業の内容を汲まなく網羅できたことは、部員の今まで知りえなかった一面を知ることができ、仲間意識の向上に役立てたと思います。

こうして振り返ると、一年間を通して同じ目標を共有して寄り添ってくれた組織力強化委員会メンバー、そして企画に賛同し協力してくださった多くの青年部員の皆様から反対に私自身が組織の大切さを学ぶこととなりました。

最後に、この素晴らしい仲間と共に一年を過ごせたこと、そして初委員長で戸惑う事が多い中、耳を傾け、真摯に受け止め、適切な助言と、実現にむけた協力を頂きました長谷川会長始め役員の皆様、会議所の皆様、そして、青年部員の皆様に感謝申し上げます。

組織力強化委員会





地域振興委員長

畑 佐 卓

株式会社 大幸住宅 可児工房

地域振興委員会の 活動を振り返って

地域振興委員会は本年度、基本方針に地域の活力を生み出すのは人であり、人が集まってくる地域をつくるためには、地域への愛情を育むこと、そしてそこには無い地域の魅力を創出することを目的に、青年部だからこそ出来るアプローチで取り組もうと活動をしてまいりました。また、せっかくだけ行方であればまず楽しいこと、そしてこれまでの枠にとらわれず自由な発想で考えることを意識しておこないました。

5月には子育て健康プラザ マーノのオープニングイベントに関わりました。マーノの施設らしく親子で楽しめる内容にしようと「紙アプリ」、映画鑑賞、「記念新聞の発行」、「パン屋さん体験」などを実施しました。新たな施設のオープニングに携われたこと、そして来場者の方々の多くの笑顔が間近にみる事が出来たのはとても貴重な経験でありました。1月には「巨大鍋とかまくら」を実施しました。出来るか分からないことにチャレ

ンジするところから事業の一環としようと考え、手探りでスタートしました。メンバーのみならず多くの先輩方にもご協力いただきながら、また市役所や親会の様々な企業の方からのご協力や協賛をいただきながら、少しずつ形となりながら進んできました。市民の方にも参加してもらった収穫体験では、小さな子供たちが一生懸命収穫した白菜を抱えて運んでくれる姿がとても印象的で、何かなんでもこの鍋作りを皆で成功させたいと改めて強く思いました。当日は小雨が降る天候でしたがにも関わらず、大変多くの来場者の方々が会場があふれ、4つの鍋と雪あそび、動物とのふれあいを家族で楽しんでいただきました。

本事業のために本当に多くの方の力と時間をいただきました。本当にありがとうございます。今回のことを糧に青年部がさらに成長し、この地域へより一層のお返しが出来るように今後とも頑張っていきたいと思います。

地域振興委員会





夏まつり実行委員長

太田 真哉

太田板金工作所

可児で輪となり華となる

可児夏まつり2018本当にありがとうございました。自分自身至らぬ点、アイデア不足等、多くあったと思いますが、沢山の仲間・先輩・会議所の皆さんに助けけていただき、ひと夏の大きな思い出を作ることが出来ました。また可児市民の方々にも大変喜んでいただきました。青年部員全員で暑い夏のイベントをやり遂げられたこと、新しいことに挑戦できたこと大変嬉しく思います。

今回どうしてもやりたかった「可児市内全域中学生ボランティア募集」を実現できて本当に良かったと思います。2日間で可児市内全域から総勢104人の登録をいただきました。

当日は36度を超す猛暑にもかかわらずボランティアの子達に触発され、青年部員も例年より生き生きと活動していたと思います。可児市の未来を背負う子達に可児市商工会議所青年部の夏まつりへの本気の姿を見てもらえたことがきつと可児市の大きな財産になる

と確信しています。

また今回の実行委員会メンバーにも本当に一丸となつて夏まつりに取り組んでいただけました。このメンバーだからこそ出来たことが多くあったと思います。全9回の実行委員会にはほぼ全員出席してくれました。意欲と柔軟性と行動力に優れたメンバーだったと思います。最後の反省会の時にメンバー全員から「楽しかった」と言う言葉をもたらした時に実行委員長をやらせていただけて本当に良かったと思います。青年部員の皆さんにはこれから先も青年部活動で沢山の知恵と時間を使わせていただくことが多くあると思います。青年部活動は学びも大切ですが自分やってみたくいことを楽しく仲間たちと一緒に実現できる数少ない場です。こんな楽しみはお金では買えません、一生の中でこれほど計画・実行ができる機会があるでしょうか？これからの青年部活動まだまだ奇想天外な事業があるかもしれません、夏まつり同様楽しんでの参加と御理解ご協力のほどをよろしくお願ひします。

最後になりますが、会議所の皆様、市役所の皆様、関係各所でご協力いただいた皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。



可児夏まつり
2018
実行委員

- | | |
|---------|-------|
| 実行委員長 | 太田 真哉 |
| 副実行委員長 | 長谷川啓仁 |
| 総務委員長 | 畑佐 卓 |
| 会場委員長 | 本田 貴也 |
| 環境委員長 | 若山 義史 |
| 渉外委員長 | 加納 栄司 |
| 財務委員長 | 畑佐 卓 |
| 広報委員長 | 長瀬 篤 |
| イベント委員長 | 平山 憲文 |
| 踊り委員長 | 市原 征伸 |
| 花火委員長 | 菱川 暢之 |
| 監事 | 林 伸彦 |





可児で
輪となり
華となる

夏まつり 2018 委員長

「夏まつりで楽しかったこと」

広報委員長 長瀬 篤

初委員長



2017年10月に青年部に入部した私。右も左もわからない状況のまま太田実行委員長に夏まつり広報委員長にご指名いただき、それから夏まつりを終えるまで、本当にあっという間の出来事でした。

広報委員長の主な役割としてはポスター、プログラム、カウントダウン看板の制作等でしたが、とにかく過去の事例がよくわからず、しかもどれも早期の初動が必要で、いつもスケジュールに追われていた気がします。

しかしポスターでは太田実行委員長の「若い女の子を使いたい」というご要望をなんとか叶えることができ、夏まつり当日も皆さんの活躍を写真や動画で撮影させてもらい、それを編集した部分に関しては本当に楽しく行う事が出来ました。

やり残した事としては、青年部の皆さんの頑張りをもっと可児市民の皆様へ伝える事が出来たら良かったという思いですが…、それは次年度の夏まつりの広報委員長にお任せしたいと思います。

私は去年入ったばかりですが、今年で卒業となります。今年一年のみの青年部活動は私にとって大変良い経験となり、感謝がありません。

次年度以降の夏まつりの盛大な開催と皆様のご活躍を祈念しております。ありがとうございました。

環境委員長 若山 義史

初委員長



昨年度、可児YEGに入部し、夏まつりも一度体験しただけの状態での初委員長でしたが、青年部員メンバー及び外部協力者の方々の多大なるご協力のおかげで、なんとかやり遂げることができました。ありがとうございました。

会議では、メンバー全員が市民の皆様や関係者にとってより良いものを作ろうとの思いで、時に日付をまたぐこともありましたが、自分の意見に責任を持ち実行することで事業に参加する事の面白さを学ばせて頂きました。

今年は初の試みとして中学生ボランティアがありました。暑くて大変にも関わらず楽しそうにボランティアをする姿勢に、逆にこちらが学ぶことも多かったように思います。また、そのボランティアや青年部メンバー等の笑顔を、今年は広報委員会のおかげで動画として残してあとから見る事ができたのも良かったと思います。

最後に、可児夏まつりという大きなイベントを中から携わる経験ができたことにとても嬉しく思います。ありがとうございました。

踊り委員長 市原 征伸

初委員長



夏まつりの踊りを全く経験したことがなく、手探りの状態で踊り委員長を担当させていただきました。全ての段取りが後手に回ってしまい、関係者の皆様には迷惑をおかけしてばかりでしたが、先輩達の助けのおかげで楽しくやり切ることができました。嫌な顔一つせず、五平餅片手に「半分青いマン」をやっていた太田実行委員長には感謝の念しかありません。

初めて上がったメインステージでの踊りは、楽しすぎてあっという間の時間でした。笑顔で踊る市民の方々がとても印象的で、「踊りの力」をひしひしと感じたのを覚えています。夏まつり当日に向け、2時間の市民踊り練習会後、さらに2時間のオープニングバブリーダンス練習を重ねた日々も良い思い出です。徹夜での警備も最高でした。

高でした。

今後の夏まつりが市民の皆様にとって地域愛により強くつながるイベントになるよう、今回の経験や感じたこと、また、楽しむ心を大切にしながら今後も夏まつりに関わっていきたいと思います。

イベント委員長 平山 憲文

2回目



可児夏まつりに来場された皆さまに楽しんでいただけるよう、例年にも増して楽しいイベントを盛りだくさんで開催することができました。

ふるさと川公園では、真夏の雪あそび・魚つかみ・とんかち広場・チャンバラ合戦 IKUSA・色んなガリガリ君を集めたアイス販売、市役所駐車場では、はたらく車大集合と夏まつりオリジナルうちわを持って各イベント会場を回るパラマールシーララーを実施しました。当日、日中の暑い時間帯にも関わらず多くの皆さまに楽しんでいただき、多くの子ども達の笑顔を見ることでとても嬉しかったです。

特に冷たい雪が頭上に舞い降りる「真夏の雪あそび」の降雪タイムには、大歓声が沸き起こり、大人も子ども大はしゃぎで大変喜んでいただけました。大雪を降らし、小さな子どもさんが安心して遊べる雪山を作るため、8トンの氷とスノーマシンで作る人工雪を使用しました。少しでも多くの雪を降らせたいとの思いで、うち氷2トンは地元の市場の冷凍倉庫をお借りして青年部の仲間で作りました。雪で遊んだことのない子ども達に、雪で遊ぶことの楽しさを伝えることができました。真夏に雪あそびができ、夏休み最高の思い出づくりをしていただけたと思います。

企画段階を含め、楽しんでイベント委員長をやらせていただきました。来年のイベント委員長にも自分のやりたいイベントを企画して開催して欲しいと思います。



夏まつり 2018 委員長 「夏まつりにかけた思い」

総務委員長 畑佐 卓



本年度は総務委員長と財務委員長を兼任させていただきました。

総務委員長としてまず真っ先に考えたのは楽しくできる実行委員会の運営でした。毎年、深夜まで行われる実行委員会の負担を軽くし、新しいイベントに取り組みやすい雰囲気づくりをすること、委員長が楽しそうに祭りに取り組んでいる姿をつくること、その次の夏まつりの委員長の担い手を作っていくことにつながると考えました。

月1回の会議にし、スムーズな進行と隔月での親睦を深める場を設けました。また委員長たちがやりたいことをやれるようにするためには、やはり予算の問題が重要になってきます。

そのために、財務委員長も兼任でやらせていただき、例年とはちがう予算配分に振り替え、協賛金も例年より多く集めさせていただきました。夏まつりはやらされで行うのではなく、お客さん以上に青年部員が楽しそうにやっていくことが大切だと考えます。

是非来年以降もそんな夏まつりの運営をお願いしたいと思います。



花火委員長 菱川 暢之



可児夏まつり2018で花火委員長を仰せつかった菱川です。

今年の夏まつり実行委員会はとても和やかな雰囲気の中、何度も協議を繰り返し無事夏まつりを開催することが出来ました。

さて、今年度の夏まつりでは昨年度までの噴き上げ花火から打ち上げ花火へと進化するべく、動いてきました。周辺住民の皆様のご理解とご協力も得ることが出来ましたが、あと一歩叶わず昨年と同様の噴き上げ花火となりました。

ですが、少しでもより良い噴き上げ花火を市民の皆さんへお見せたく、花火業者のアクシスさんにはかなりの無理難題をお願いし、無事噴き上げることが出来ました。

可児夏まつりは青年部活動の一大イベントであり、今年実行委員会に参加することが出来、大変勉強になりました。有り難うございました。



会場委員長 本田 貴也



今回会場委員長という役を受け、会場内の配置・設営等をやらせてもらいました。

振り返ってみて会場案内図の見易さ・救急車の誘導案内図・会場内通行止め場所の柵設置等々、事前準備の足りない所が多々あり緊急時には少々混乱してしまいました。

イベント・踊りの委員長だけではなく渉外委員長との打ち合わせをもっと密にし危険箇所・人の動き等を検討していかなければいけなかった事と反省しております。また、入口ゲートを設置し大弾幕を張ることにより会場入口らしくなった事は良かったのではないかと思います。

そして、今回新たに設営・撤去にあたり業者に依頼をかけてステージ・PA席をお任せした事は、最終的には倉庫への片付けがありました。人数の減ってきている青年部には負担が減って助かったのではないかと思います。

至らない所も多々あったかと思いますが、多くの方が来場され楽しんでいてもらえ、無事に終えることが出来たのは、皆様の協力があったからこそと思い感謝しております。ありがとうございました。



渉外委員長 加納 栄司



夏まつりの渉外ということで主に来場者の安全をメインとした活動をしました。今年では実行委員会の中で打ち上げ花火の実現に向けて意見が一致して実行委員メンバーが一枚岩になって夏まつりに挑めた事は大変に素晴らしい事だったと思います。特に渉外委員会は外部協力者の警察署や消防署から安全の了解を得るために観覧場所の変更をしたので大幅に警備計画や安全対策を変更しました。みんなで一緒に悩んで頂いて大変助かりました。また当日はバリケード設置や警備の指示など終始パニック状態でしたがメンバーには臨機応変な対応をして頂き助かりました。そのおかげで夏まつり当日は大きな事故はなく良かったと思います。打ち上げ花火を実現するにはまだまだ課題も多くあり警備計画や安全対策の見直しが必要になりますが次年度以降も実行委員会が一つに纏まって打ち上げ花火が出来るように頑張ってください。できる限りサポートしていきたいです。よい経験をありがとうございました。





可見 YEG 平成の軌跡

平成30年 長谷川啓仁会長

平成29年 亀谷孝太会長

平成28年 安江健一郎会長

平成27年 溝口広明会長

平成26年 松田浩一会長

平成25年 山川和仁会長

平成24年 渡辺光祥会長

平成23年 渡辺博行会長

平成22年 川合俊治会長

平成20・21年 岡田明文会長

平成19年 山本直久会長

平成17・18年 樋口克次部長

平成15・16年 市橋弘行部長

平成13・14年 渡辺真治部長

平成11・12年 服部誠志部長

平成9・10年 玉置健司部長

平成7・8年 芦田典明部長

平成6年 市原崇光部長

平成30年

平成26年

平成24年

平成21年

平成18年

平成16年

平成10年

平成9年

平成15年

平成8年

平成14年

平成7年

平成6年

平成12年

平成11年

平成19年

平成22年

平成23年

平成27年

平成28年

平成29年

平成30年



県連会長

亀谷 孝太

有限会社 亀谷電気商会

繋がりにから生まれる活力

はじめに、私に各上部団体へ出向する役を拝命いただきましたこと、皆さんに感謝申し上げます。関連ある3つの役を同時に受けると決めるときは、これから始まっていくことのワクワク感よりも不安のほうが大きかったことが思い出されます。

岐阜県商工会議所青年部連合会では会長として、スローガン「LEADER'S」岐阜の未来へ繋ぐ手と手」を掲げ、現在まで先輩方が脈々と培ってきた絆を、これからの担う仲間とともに未来へ繋いでいきたい。そして私達が経験してきたことを最大限活用し、この先連合会がより発展することを願って活動してまいりました。

また、東海ブロック商工会議所青年部連合会では副会長を、日本商工会議所青年部では岐阜県連の代表として役員会の理事を務めました。各連合会の当事者であるという責任の重みを感じると同時に、同じ場にいる仲間との絆も多く生まれました。

私は、報告の場があるたびにこの素晴らしいをお伝えしてきたつもりではありませんが、自身の力不足なところもあり、言葉だけではなかなか思うよう

にいかないことがありました。単会も、連合会も、つまるところ人との繋がりが全てです。その場にいなければ何も始まりません。ただ気の合う仲間ではなく、喜びも苦しみも一緒に経験して、それを重ねることで生まれるのが絆であり、青年部活動の醍醐味だと思います。参加するもしないも自身で判断することは大切ですが、仲間が発する声に耳を傾けて一歩踏み出すことができれば、世界は広がっていくのではないのでしょうか。

最後に、これらの役職を全うすることができましたのも、可児の仲間として県連役員の皆さん、事務局からの多大なるご支援の賜物でございます。遠方に行くことが多く、過密なスケジュールを組まねばならず、心が折れそうになることもありましたが、地元へ帰れば信頼できる仲間たちがたくさんいる、このことが何より心の支えとなりました。自身の所属する青年部が、人のあたたかさを感じられる素晴らしい会だと、外に出ることで改めてそう感じられたことをとても嬉しく思います。今回得られた経験や絆を、可児YEGがより魅力溢れる活動と発展ができる一助となるよう、感謝の意を胸にしっかりと抱いて、未だ長い青年部活動に尽力したいと思います。一年間、ありがとうございました。





卒業部員紹介



松田 浩一
南マツダ



本田 秀樹
南本田電気



森田 浩平
㈱ベル



林 伸彦
南マルハ電気設備



田口 博英
玉泉堂表具店



長瀬 篤
vivik



田中 良典
串焼きの店 呑気家

新入部員紹介



山口 裕
山口建築



大脇 崇宏
㈱サカエ屋



古田理穂子
㈱epi



水野 満哉
水野茶園



末廣 章
アキラ建築合同会社



渡邊 浩人
南石かり



村田 竜一
南ハイビックス

平成30年度 年間事業報告

- 4 / 1 バランまる参加イベント「防災フェア」ラスバ御嵩
- 3 定例役員会 可児市総合会館
- 14 岐阜県商工会議所青年部連合会第1回役員会 湯の華アイランド
- 17 通常総会【総務委員会】 可児市福祉センター
- 23 執行部会 可児市総合会館
- 24 東海ブロック商工会議所青年部連合会第3回役員会 瀧定名古屋ビル
- 5 / 2 定例役員会 可児市総合会館
- 6 可児市駅前子育て支援施設「mano」オープニングイベント
- 【地域振興委員会】 子育て健康プラザmano
- 12 バランまる参加イベント「ぎふ国際ローズフェスティバル」 花フェスタ記念公園
- 25 執行部会 可児市総合会館
- 26 東海ブロック商工会議所青年部連合会第4回役員会・会員総会・会長会議 刈谷産業振興センター
- 6 / 4 定例役員会 可児市総合会館分室
- 22 執行部会 可児市総合会館
- 23 岐阜県商工会議所青年部連合会第2回役員会 わかくさ・プラザ
- 28 マシュマロゲームで築くチームワーク！
- 【組織力強化委員会】 可児市総合会館分室
- 7 / 3 定例役員会 可児市総合会館分室
- 日本商工会議所青年部全国会長会議 T K P ガーデンシティ品川
- 17 可児夏まつり2018 決起大会【夏まつり実行委員会】 可児市総合会館分室
- 20 日本商工会議所青年部役員会/全国大会事業報告 シーガイアコンベンションセンター
- 24 執行部会 可児市総合会館
- 25 東海ブロック商工会議所青年部連合会第5回役員会 松坂
- 8 / 3 定例役員会 広見地区センター
- 11~12 可児夏まつり2018 可児市役所東駐車場 ふるさと川公園
- 18 岐阜県商工会議所青年部連合会第3回役員会・親睦交流会 高山市民文化会館
- PLAY B / 臥龍の郷
- 23 可児夏まつり2018 慰労会【夏まつり実行委員会】 四季の味 鈴川
- 24 執行部会 可児市総合会館
- 25 東海ブロック商工会議所青年部連合会役員会・親睦交流会 華王殿
- 9 / 3 定例役員会 可児市総合会館分室
- 20 執行部会 可児市総合会館
- 26 新入部員歓迎会 IMAKOYA (マーン)
- 10 / 2 定例役員会 可児市総合会館分室
- 19 東海ブロック商工会議所青年部連合会第6回役員会・会員総会・会長会議 ひだホテルプラザ
- 20 東海ブロック商工会議所青年部連合会東海ブロック大会飛騨高山大会【広報委員会】 高山市民文化会館
- 23 執行部会 可児市総合会館
- 27 岐阜県商工会議所青年部連合会第4回役員会 キーポイント
- 28 バランまる参加イベント「子ども虐待防止キャンペーン 岐阜オレンジリボン たすきりレー」 子育て健康プラザmano
- 11 / 2 定例役員会 可児市総合会館分室
- 3~4 バランまる参加イベント
- 「産業フェアin可児2018」 可児市文化創造センター a l a
- 9~10 日本商工会議所青年部
- 第36回全国会長研修会とかち帯広会議 帯広市民文化ホール
- 23 執行部会 可児市総合会館
- 24 関YEG創立40周年式典出席 岐阜グランドホテル
- 26 多治見商工会議所青年部講演会出席 多治見商工会議所
- 29 臨時総会【総務委員会】 可児市総合会館分室
- 部員をもっと知ろう！～事業PRから始まるご縁～【組織力強化委員会】 可児市総合会館分室
- 12 / 1 岐阜県商工会議所青年部連合会第5回役員会 鶴沼東福祉センター
- 4 定例役員会 広見地区センター
- 7~8 忘年会【総務委員会】 店の味 乃だや
- 21 執行部会 可児市総合会館
- 1 / 4 定例役員会 可児市総合会館分室
- 20 地域魅力創出イベント「巨大鍋とかまくら」【地域振興委員会】 ふるさと川公園
- 24 東海ブロック商工会議所青年部連合会第7回役員会 名古屋
- 25 執行部会 可児市総合会館
- 2 / 2 豊川YEG創立30周年式典出席 豊川市文化会館
- 4 定例役員会 可児市総合会館分室
- 10 各務原YEG創立30周年式典出席 岐阜グランドホテル
- 16 岐阜県商工会議所青年部連合会第6回役員会
- 第16回県連大会美濃加茂大会【組織力強化委員会】 シティホテル美濃加茂
- 17 バランまる参加イベント「可児ステイマラソン」 花フェスタ記念公園
- 22 執行部会 可児市総合会館
- 3 / 4 定例役員会 可児市総合会館分室
- 8~9 日本商工会議所青年部第38回全国大会日本のひなたみやざき大会
- KIRISHIMA ヤマザクラ宮崎総合運動公園 木の花ドーム
- 16 東海ブロック商工会議所青年部連合会第8回役員会・会員総会 亀山
- 20 執行部会 可児市総合会館
- 21 卒業式【地域振興委員会】 平牧洞窟
- 30 岐阜県商工会議所青年部連合会第7回役員会 関
- 31 バランまる参加イベント「防災フェア」ラスバ御嵩



可児商工会議所青年部

編集発行 可児商工会議所青年部

可児市広見1-5 TEL 0574-61-0011 FAX 0574-63-1856
URL <http://kani-yeg.org/> E-mail yeg@cci.kani.gifu.jp

発行日 平成31年3月31日
印刷所 有限会社 ヤマト印刷

青年部員募集中！！

可児商工会議所青年部 平成31年度スローガン

地域発展の灯火となろう

私達が自社の事業を継続していくためには、この可児市の永続的な発展が不可欠です。それを実現していくために、我々は何をすべきか？新時代の幕開けに、青年部員として考え挑戦し成長しながら一緒に活動しませんか？



青年部FAQ

- Q:どんな人がいるの？ A:45歳までの可児が大好きな若手経営者(後継者)です
- Q:普段どんな活動をしているの？ A:月に1回ペースで例会という事業を企画したり、可児夏まつりをはじめとした地元行事の企画・設営といった地域貢献のほか、様々な仲間と情報交換・人脈作りができる懇親の機会を設けています
- Q:ちゃんとしていけるか心配なんですが・・・ A:最初のご自身のペースで参加しやすそうなものから参加をしてみてください。気さくで明るいメンバーたちが話しかけてきてくれますよ！

一緒に活動できることを楽しみにしています

お問い合わせは
可児商工会議所青年部事務局

TEL:0574-61-0011

<http://kani-yeg.org>

可児商工会議所青年部

検索

Young Entrepreneurs Group
YEG 可児商工会議所青年部